

- | | | |
|---|--------|---|
| 1 | 種別 | 史跡 |
| 2 | 名称 | 安藤昌益墓 |
| 3 | 面積及び法量 | 3.49㎡
「堅勝道因土」墓石 高105.8cm、幅50.0cm、厚26.0cm
「昌安久益信土」墓石 高56.0cm、幅21.5cm、厚13.3cm |
| 4 | 所在地 | 大館市二井田字贅ノ里31番墓地内 温泉寺 |
| 5 | 所有者 | 大館市、個人 |
| 6 | 説明 | |

安藤昌益墓は、大館市二井田字贅ノ里の温泉寺境内にある。

安藤昌益は、江戸時代中期の思想家である。昌益の思想は、明治32年（1899）に狩野亨吉が見出した稿本『自然真営道』で知ることができる。

彼の生涯に関しては、八戸の藩政日記などに散見されるが、未だに不明な点が多い。秋田との関連は、『自然真営道』に「倭国羽州秋田城都之住也」の一文のみであった。

昭和49年（1974）、郷土史家の石垣忠吉ら大館市史編纂委員会による二井田一関家文書の調査で、明和元年（1764）、昌益の三回忌法要の記録である「掠職手記」と名付けられた資料が発見された。「当処孫左衛門申者安藤昌益目迹御座候処」ではじまり、「昌益午年十月十四日病死仕候」とあり、昌益の没年が宝暦12年（1762）と特定された。また昌益の菩提寺が温泉寺であることが書かれていた。そこで、過去帳にあたったところ、「昌安久益信土」＜宝暦十二年拾月／下村昌益老＞（割注）とあること、「昌安久益信土」は貼り紙に書かれていること、貼り紙の下には「堅勝道因土」とあることが確認された。さらに、境内には「堅勝道因土」の戒名を含む墓石と「昌安久益信土」と刻まれた墓石が発見され、安藤昌益に関する新資料として大きく報道された。

墓は温泉寺境内の一角にあり、発見後しばらくして所有者により整備され、現在に至っている。

安藤昌益墓は、近世日本における封建的身分制を否定するなど革新的思想家である安藤昌益が、宝暦12年（1762）大館市二井田において没したことを示す具体的な資料として貴重である。

参考文献

狩野亨吉「安藤昌益」『岩波講座・世界思潮』第3冊 岩波書店 昭和3年（1928）

石垣忠吉「安藤昌益—その晩年に関する二井田資料—」『大館市史編さん資料』第14集 昭和49年（1974）

大館市『大館市史』第二巻 昭和53年（1978）

安藤昌益研究会編『安藤昌益全集』第14巻 農山漁村文化協会 昭和60年（1985）6月10日

安永寿延編 山田福男写真『増補写真集 人間安藤昌益』農山漁村文化協会 平成4年（1992）10月15日



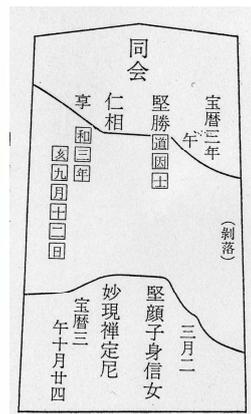
①昭和50年頃の様子



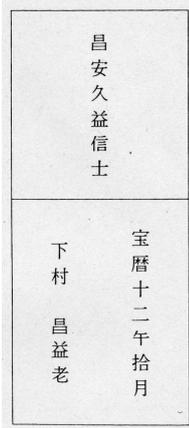
②現在の様子



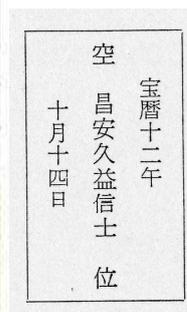
道因士」



④「堅勝を含む墓石



③温泉



寺過去



⑤「昌安久益信士」墓石と拓本

帳

